

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-292
研究課題名 <i>Bacillus cereus</i> 菌血症症例における <i>B. cereus</i> の病原性解析
研究期間 西暦 2014 年 09 月（倫理委員会承認後）～2015 年 08 月
対象材料 □病理材料（対象臓器名 _____） □生検材料（対象臓器名 _____） □血液材料 □遊離細胞 ■その他（ 菌株: <i>B. cereus</i> および患者臨床情報 ）
上記材料の採取期間 西暦 2009 年 1 月～2012 年 12 月
意義、目的 <i>Bacillus cereus</i> は血液培養で検出されても汚染菌として扱われることが多いが、NICU や血液内科病棟において重篤な感染症を引き起こす。近年 <i>B. anthracis</i> に特異的な遺伝子 <i>Ba813</i> を保有する <i>B. cereus</i> の院内アウトブレイクや重症化症例の報告があるが、病原性および臨床的な意義は不明である。今回、東北大学病院の <i>B. cereus</i> 菌血症例の内 <i>Ba813</i> 遺伝子の保有違いによる病原性、臨床学的なアウトカムを検討することを目的としている。
方法 ・ 2009 年 1 月～2012 年 12 月の 4 年間で東北大学病院において <i>B. cereus</i> が血液培養より複数セット検出された患者と菌株を対象とする。 ・ <i>B. cereus</i> の病原性解析に関しては、 <i>in vitro</i> で軟寒天培地を用いて Swimming・Swarming 能の評価、菌体外毒素測定、Biofilm 形成能および病原遺伝子の保有について検討を行う。 ・ 臨床学的解析において以下の項目を検討する。 ①年齢、②性別、③基礎疾患、④入院日、⑤血液培養陽性日、⑥手術の有無、⑦血液培養陽性日における患者バイタル、⑧血液検査データ、⑧使用薬剤、⑨転帰
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学分野 住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 電話：022-717-7373 青柳 哲史